

い

編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
[http://www.city.ikeda.
osaka.jp/](http://www.city.ikeda.osaka.jp/)

いけだ

No.124

いけだ市議会だより

平成23年（2011年）8月1日



5 月 臨 時 会 …… 2

正副議長あいさつ

各委員会委員一覧 …… 3

6 月 定 例 会 …… 4

意見書 …… 5

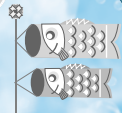
議会日誌 …… 5

代表質問 …… 6

議決結果 …… 12

やまばと …… 12

〈ひかり幼稚園にて〉



5月臨時会



臨時会は、5月16日に開会し、まず、議長・副議長はじめ各委員会の委員等を選任しました。

その後、市長から報告案件6件、契約議案1件、並びに人事案件4件が提出され、可決・承認・同意し閉会しました。

なお、議長・副議長、各委員会の委員については、掲載の通りです。

就任のご挨拶



議長
渡邊 千芳



副議長
細井 馨

市民の皆様には、平素から市政並びに市議会に対し、温かいご理解とご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

このたび私たちは、統一地方選挙後の5月の臨時市議会におきまして、第70代の議長・副議長に就任いたしました。もとより微力ではございますが、市民の皆様方の信頼に応えるべく全力をあげて頑張らせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。さて、3月11日に発生しました東日本大震災は、東日本に甚大な被害をもたらしました。被害に遭われた皆様からお見舞い申し上げますとともに、被災地の日も早い復興を心からお祈りいたしま

す。

我が国の経済は円高や、底の見えない株安に加え、東日本大震災の影響により、更なる打撃を受けた感があり、市民生活はもとより地方自治体にとりましても非常に厳しい状況が続くものと考えられます。

このような中、本市におきましては、新たな行財政改革プランを策定し引き続き行財政改革に努めるところです。私たちが市議会といたしまして、自らの改革として、議員定数の削減や、政務調査費の減額などを断行し経費削減に努めてまいりました。

今後も、議決機関としての権能を最大限発揮しながら、市民の皆様が、安全・安心に暮らせるまちづくりに誠心誠意努力するとともに、市民の皆様が開かれた議会となるよう努めてまいります。

どうか今後とも、市民の皆様方のより一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

議会選出の監査委員に

多田 隆一 議員

今回、議会選出の監査委員に、多田隆一議員を選任しました。

監査委員とは、地方自治法に基づき、市やその関係団体の予算執行や事務処理が正確に行われているかどうかを監視するのが主な仕事です。

副市長に玉手忠志氏

今臨時会で提出されていた議案のうち、副市長の任期満了に伴う後任については、玉手忠志氏の選任に同意しました。

任期は、平成23年5月24日から4年間です。

常任委員会・議会運営委員会・特別委員会

常任委員会

◎委員長 ○副委員長 () 所属党派 議席順

総務委員会

定数 6



まえだ さとし
◎前田 敏
(民主党)



きのした かつげ
○木下 克重
(自民同友会)



やまもと たけし
山元 建
(日本共産党)



うまさか てつぺい
馬坂 哲平
(公明党)



なかにし あき お
中西 昭夫
(まちの見張り番)



わたなべ ちよし
渡邊 千芳
(市民クラブ)

文教病院委員会

定数 6



きのひらけいこ
◎木ノ平恵子
(公明党)



やまぐち しょうへい
○山口 勝平
(まちの見張り番)



やまだ まさし
山田 正司
(市民クラブ)



なんば すすむ
難波 進
(日本共産党)



つじ たかじ
辻 隆児
(民主党)



もみき たけし
椴木 猛
(自民同友会)

厚生委員会

定数 5



はた ひろふみ
◎秦 寛房実
(自民同友会)



はまちしんいちろう
○浜地慎一郎
(無所属)



ふじくら みちこ
藤原 美知子
(日本共産党)



ただ りゅういち
多田 隆一
(公明党)



まつもと しん
松本 眞
(市民クラブ)

土木消防委員会

定数 6



かわにし じろう
◎川西 二郎
(市民クラブ)



こばやし よしのり
○小林 義典
(自民同友会)



あぐろ よしお
安黒 善雄
(まちの見張り番)



ほそい かつお
細井 馨
(自民同友会)



ないとう まさる
内藤 勝
(民主党)



よしもと みつお
吉本 光夫
(公明党)

議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長 議席順

定数	委員氏名					
8	◎渡邊 千芳 難波 進	○細井 馨 松本 眞	馬坂 哲平 椴木 猛	中西 昭夫	前田 敏	

特別委員会

◎委員長 ○副委員長 議席順

委員会名	定数	委員氏名			
空港・交通問題 調査特別委員会	7	◎中西 昭夫 川西 二郎	○秦 寛房実 内藤 勝	藤原美知子 木ノ平恵子	浜地慎一郎
まちづくり防 災特別委員会	8	◎難波 進 辻 隆児	○多田 隆一 吉本 光夫	山口 勝平 椴木 猛	山田 正司 木下 克重
市議会だより編 集特別委員会	6	◎松本 眞 馬坂 哲平	○小林 義典 前田 敏	山元 建	安黒 善雄



6

月定例会



6月定例会は、6月6日に開会し、市長から報告案件5件、議案6件、並びに人事案件4件が提出され、本会議及び委員会で審議を行い、いずれも可決・承認・同意しました。

今議会は、統一地方選挙後の初の定例市議会となるため、市長の今後の市政に対する所信表明が6日に行われました。これに対し、9日には各党派から代表質問を行い、それぞれの立場から市民の声を市政に反映させるため活発な議論を展開しました。また29日には議員報酬の特例に関する条例の制定など、2件の議員提出議案をいずれも可決し6月定例会を閉会しました。

学校施設再編整備計画に 基づく実施設計が始まる

今議会では、平成23年度の一般会計7億5071万5千円を、歳入歳出それぞれに追加し、総額359億9921万5千円とする補正予算が提出されました。

本年は4月に統一地方選挙が行われたために、3月の当初予算は骨格予算となっており、今回の補正が、倉田市政5期目の実質的なスタートとなる本格予算となります。今回の歳出補正額の多い順

に、教育費44・1%、消防費29・7%、土木費19・1%の追加補正となります。

まず、教育費では学校施設再編整備計画に基づき、施設一体型小中一貫校を整備する実施設計委託料及び耐震診断委託料、また、旧城山勤労者センターの耐震補強及び大規模改造工事を行い、教育研究所と青少年センターの機能を併せ持つ「総合教育センター」として整備。消防費では、40m級はしご付消防自動車及び消防ポンプ自動車の更新。

土木費では、伏尾台中央公園、古江公園、水月公園（舟池）の改修工事及び五月山緑地整備事業として駐車場を整備。

また、災害対策費では避難所誘導看板設置、洪水ハザードマップ等作成、災害用資機材購入、地域防災リーダー養成の各事業を。

その他、市役所庁舎耐震診断、第2敬老会館としての人權文化交流センター改修工事、子育て一時預かり利用券（ふくまる子ども券）の給付、がん検診（子宮頸がん、乳がん、大腸がん検診）、勤奨業務委託料などについて、活発な論議が交わられました。

特に、学校施設再編整備計画の発表と同時に、地域住民等への説明会も実施せず実施設計予算を計上することや、廃校となる小学校が出てくることは地域コミュニティの核がなくなることであり容認しがたいとの反対意見も出されましたが、今回の提案は地域住民に更なる理解を得るために、具体的な図面等を作成する設計予算であり、時宜を得たものであり評価できるとの賛成多数で可決しました。

行政組織の改正

補正予算以外の議案では、診療報酬の改定に伴う専従職員増員等により、市立池田病院事業の事務部局の職員定数を変更する職員定数条例の一部改正、また、大阪府から権限移譲を受け、消防保安行政事務手数料条例の制定や汚染土壌処理業に関する手数料条例の一部を改正する条例等が提案され、活発に論議されましたが、全て全会一致で可決しました。

行政事務を適正かつ効率的に遂行するため、市長の事務部局の組織を現在より1部3課増やし、8部39課とする事務分掌条例の改正が行われました。

地球規模で問題になっている環境分野に本市としても重点を置くため「環境部」が新たに設置されるとともに、再編により新しく地域分権・協働課、契約検査課、課税課、納税課、環境をまもる課を設置し、市民サービス向上を図る組織改正となりました。

議員報酬を10%削減

今年7月より、議員報酬を10%削減する特例条例を全会一致で可決しました。提案理由としては、池田市の財政状況は9年連続の黒字決算となつていますが、法人市民税の大幅な減少と扶助費の増加などにより依然厳しい状況が続いています。

さらに、地方議員年金制度の廃止に伴い、今後は年金財源の確保が必要となるなど、財政を圧迫する要素が多くあるため、議員も自らの襟を正し、平成25年3月まで議員報酬を10%削減します。

なお、この原案に対し10%削減を平成27年3月まで続ける修正案が提出されましたが、2年後に再度見直しを検討することが重要との意見により、賛成少数で修正案は否決されました。

意見書

6月定例会においては、つぎの意見書を採択し、関係機関に送付しました。

- ・被災者が希望をもてる第二次補正予算の成立を求める意見書

《意見書とは、地方自治体の規定に基づいて地方公共団体の公益に関することについて、議会の意思を国会や関係行政庁に伝達するため提出する文書をいいます。》

議会日誌

5月

- 5月12日 各派代表者会議
- 5月16日 市議会臨時会
- 各派代表者会議

6月

- 6月21日 文教病院委員会
- 6月22日 総務委員会
- 6月29日 各派代表者会議

6月

- 6月2日 各派代表者会議
- 6月6日 市議会定例会
- 議会運営委員会
- 市議会たより
- 編集特別委員会
- 市議会定例会

7月

- 7月8日 まちづくり防災特別委員会
- 7月11日 市議会たより
- 編集特別委員会
- 7月12日 空港・交通問題調査特別委員会
- 7月15日 市議会たより
- 編集特別委員会

- 6月9日 市議会定例会

- 6月13日 市議会定例会

- 6月16日 土木消防委員会

- 6月20日 厚生委員会

6月6日に行われた5期目の倉田市長の市政における基本方針「所信表明」に対し、9日に各会派より代表質問を行いました。
主な内容は次の通りです。

代表質問

まちの見張り番議員団

中西昭夫
山西勝平
山口勝平
安黒善雄



質問者 中西昭夫

行財政改革推進で
市政の課題を解決し
誇りうるまちに

市政運営の基本 行財政改革がカギ

問 東日本大震災の復興財源確保のための国家財政悪化は本市にも影響が及ぶが、市長就任に際し財政改革策の公表なし。本来事業と財政とは一体であり、財政運営の方針は。

支出抑制が 新たな改革の命題

答 財政は一層厳しくなり財政調整基金の取り崩しが必要。財源確保策は9月議会に提示。

職員給与削減等の 取り組み姿勢を

問 国は公務員改革で賞与給与5%、10%カットを発表した。本市でも職員給与削減や人事評価導入が今後の昇給や人件費に連動してくるが、市長の取り組み姿勢を質す。

給与問題は 本市職員にも及ぶ

答 国家公務員給与はラスパイレース指数によって本市にも影響し検討も必要。人事評価制度は5年の試行を終え本格実施の段階。職員組合に提示。

第2敬老会館は 利便性の考慮を

問 市長は人権文化交流センターを第2敬老会館と位置づけ改修するが、アクセス等から利用も限られる。例えば細河小の運動場や体育館等を地域の拠点として活用し元気な高齢者市民に提供しては。旭丘の敬老会館も収容人員に限りがあり福祉施設の建設を。

交流センターへは 通所バス運行を

答 同センターは老人福祉部分を強化充実させ、エレベーター等設置。細河小の跡地を利用すると多額の費用が必要。

府保健所 池田駅前が必要か

問 府保健所がある池田駅からラーメン発明記念館への道は市内外からの来訪者でいつも賑わっている。市民への保健業務の大部分は市が担当し、公衆衛生や食品衛生等を主とする保健所業務に当地は適切なのか。府と交渉し図書館や公民館、池田産品ショップ等複合施設でまちの活力を創出できないか。

市民の利便性 集客地として重要

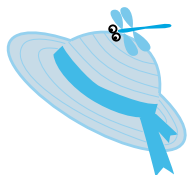
答 当該土地は非常に有効な土地である。別の考え方で、例えば庁舎に保健所が入ることとも可能かもしれないが、それはリスキーだと考える。

中学校給食は 全校同時進行を期待

問 橋下知事と市長の意見交換が実現の推進力となり、一校当たり施設整備費2億1千万円の半分の補助等具体策を示した。全5校同時進行を目指すセンター方式が有効では。

条件を整えば 実施を急ぐ予定

答 池田中・渋谷中で生徒・教職員・保護者で実施に向け検討中。補助金等財源を見極め教育委員会と協議の上9月議会に設計予算を提案する。





各派

市民クラブ議員団

川 山 渡 松
西 田 邊 本
二 正 千 眞
郎 司 芳 眞



質問者 松本 眞

防災の取組みと 拠点整備の福祉化で 市民の安全・安心を

第2敬老会館構想は

問 人権文化交流センターの老人福祉センター機能を拡充し「第2敬老会館」として考えているのか。工事内容は。

市・北部地域に 「第2敬老会館」

答 人権文化交流センターは昭和48年度の開設以来、38年が経過し老朽化が進んでいることから、耐震改修を含む大規模改造工事を行う。市・北部地域における「第2敬老会館」ともいえる施設として、老人福祉センター機能を拡充。

親なき後対策等 各種施策の充実を

問 障がい者の親なき後対策をはじめ、各種施策の充実について、具体的に問う。

各種施策を充実していく

答 障がいをもつ人たちが、地域の中でもとくに生活を送れるように、ケアホームや生活介護事業所、就労継続支援事業所など住まいや日中活動の場、働く場というそれぞれの

支援サービスの充実と相談支援体制の構築を図っていく。

子育て支援

「池田モデル」構築は

問 すべての子どもたちが健康やかに成長できるように子ども子育て支援の池田モデルの構築とはどのようなものか。

「ふくまる子ども券」 を発行

答 在宅の1〜2歳児がいる世帯に対し、公立・民間の保育所で使えるクーポン券を贈り、子どもの一時的な支援を支援する「ふくまる子ども券」を発行。今後更に子育て支援施策の充実を進めるとともに、先進的な子育て支援を「池田モデル」として構築していく。

安全・安心な まちづくりを

問 地域防災リーダー養成事業の着手及び、防災備蓄倉庫などの整備。また、地域防災力の向上について問う。

防災施策及び 防災備蓄倉庫を設置

答 東日本大震災を踏まえ、地域防災リーダーの養成を急

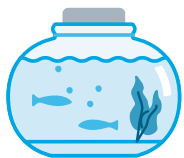
務と考へ、今年度より年3回の養成講座と年2回の認定講座を新たに開催。また、各小學校に防災備蓄倉庫を設置して、避難所運営に必要な緊急物資を備蓄していく。

中央公民館の リニューアル大賛成

問 生涯学習推進の拠点施設である中央公民館は、相当老朽化が進んでいる。今後の改修計画について問う。

幅広い市民が 利用できる複合施設

答 昭和49年3月に中央公民館として改修され老朽化が指摘されている。財政状況も勘案しながら、耐震補強やエレベーターの設置など子どもから高齢者まで利用できる生涯学習の複合施設として整備。



代表質問

日本共産党議員団

難波 進
藤原 美知子
山元 建



質問者 山元 建

福祉、くらし、
教育の充実、
災害に強いまちづくりを

南海・東南海地震に備えた計画を

問 池田市の防災計画は、阪神・淡路大震災などの直下型地震を中心としたものとなっている。今回の震災同様海溝型の東海・南海・東南海地震をも想定したものに改訂すべきである。

防災計画の修正を検討

答 南海地震等が連動した際の府の被害想定に基づき、修正を検討する。

原発事故を想定した防災計画を

問 福島原発の事故で、これまで政府・電力会社が繰り広げてきた「安全神話」の間違いが明らかになった。福井県の原発から池田市まではわずか80km。事故が起これば被害は甚大である。対策を問う。

安心材料は提供

答 防災計画を必要に応じて修正。国の放射能測定値など安心材料の提供に努める。

自然エネルギーの普及促進を

問 原発依存から脱し、地球温暖化の進行を阻止するためにも、再生可能な自然エネルギーの普及促進は急務。対策を問う。

太陽光発電の促進を図る

答 太陽光発電設備費補助制度を拡大し、公共施設への導入も積極的に検討。

高すぎる国保料を引き下げを

問 国民健康保険は国民に医療を保障する制度。保険証の取り上げをやめ、高い保険料の引き下げを求める。市民の声が届かなくなり、保険料の高騰につながる国保の広域化は進めるべきではない。

国に財源を求める

答 国に財源確保を要求していく。広域化は推進。

介護保険料のためこみを還元せよ

問 介護給付費準備基金は、ほとんどが保険料の払いすぎ分。保険料引き下げで市民に還元すべきでは。

基金を取り崩す

答 同基金は、第5期事業計画で取り崩して保険料軽減の原資とする。

市民合意なく学校再編進めるな

問 市民の理解を得ていない小中一貫教育、小学校廃校を軸とした学校再編計画は進めるべきではない。少人数学級を進めるべき。

住民の納得なしには進めない

答 学校再編計画は理解を得るため説明会を開催。地域住民の理解なしには進めない。少人数学級は国・府の基準より一学年上乗せ実施を継続。



各派

自民同友会議員団

池田の魅力発信！ 改革の断行と 郷土愛を育む街の創造



質問者 秦 寛房実

木下克重
榎木猛
細井馨
秦寛房実
小林義典

フィルム・コミッション について

問 観光振興のフィルム・コミッション事業において、ロケ地の公表やロケの予定日を紹介するなど集客対策は。

様々な意見を 集約中

答 現在は関係諸団体にPRし、すでに池田市内の民家でロケが行われた。可能な限り情報を提供し、まちの活性化に貢献したい。

人権文化交流センター 機能拡充

問 センターの機能拡充の内容と来場者数の見込みは。

耐震改修を含む 大規模改造工事

答 耐震改修工事にエレベーターの設置。老人福祉センター機能の拡充を図るため、機能訓練室、休憩室兼食事室、音楽室の整備など。また、不死王閣の温泉利用も考えており、利用者は二万人強を期待している。

指定ごみ袋と 事業系ごみについて

問 指定ごみ袋制度の実施計画と、事業系ごみの処理について。

ごみ全体の 減量方策策定

答 池田市新環境基本計画において、家庭系及び事業系ごみの20%削減目標を決定。指定ごみ袋制度及び事業系ごみ処理手数料の見直しは、パブリックコメントを実施し検討。

新たな 行財政改革は

問 学校と庁舎の耐震改修、総合教育センターの設置、中学校給食、小中一貫校整備など、これから多額の経費が必要となるが財政確保策は。

アウトソーシングと 事業の見直し

答 4年後の第2期実施計画の実施時に必要な財源を確保できるように、まずは、アウトソーシングと事務事業の見直しを考えている。

市街地緑化の 取り組みは

問 大阪府の事業で市街地の緑化のために生け垣を推奨しているが、本市の取り組みは。

地場産業の 育成に努める

答 細河地域で生け垣の見本園のようなものの設置を検討し、地場産業の育成とあわせ、幅広いネットワークができれば支援しやすくなるものと考えている。

愛国心、郷土愛を 育てる教育は

問 小・中学校の授業で日本や池田市が、素晴らしいと思うような教育の推進は。

郷土を愛する 教育の実施

答 「かくまる教志塾」で池田を愛する教師を育てるとともに、郷土愛が育まれる指導の充実を図る。

代表質問

民主党議員団

内藤 勝
辻 隆 児
前田 敏



質問者 前田 敏

災害に強い安心な
まちづくり、
育み育てる環境の充実へ

地域防災計画の 見直しについて

問 「東日本大震災」を踏まえ、住民の安全確保や行政機能が失われた事態を想定した対処、職員体制、住民と地域の支えあい、企業との連携のあり方について見解を問う。

行政機能不全事態の 回避へ努力

答 市内に所在するすべての人を市民と位置づけ、市庁舎の耐震化を進める。緊急物資も各小学校に防災備蓄倉庫を設置し備蓄する。地域防災力の向上のため、地域防災リーダーの養成を早急に行う。消防団・自主防災組織・地域住民が平素から連携する体制整備と企業の自主防災組織の結成、減災にむけた地域貢献を要請する。また、防災意識の啓発に先人の教えを生かし、被害を避けるため更なる努力を傾注する。

まちづくりに 主体的な振興策を

問 財政の制約、グローバル化、少子高齢化の中では、内発的な地域再生の方向づけが

必要、地域に存在する潜在力を通して進化させるべきでは。

役割を検証し 地域主体事業を支援

答 観光・商業振興は地域や事業者が自発的に取り組み、市の主体的活動が住民主体へと変換しており、今後も市の役割を十分に検証し、地域主体の事業を積極的に支援する。「自分たちのまちは自分たちでつくり出す」を合言葉に、地域の共通課題の解決に向け、協働のまちづくりを推進し地方分権の理想の形を目指す。また、産学連携として専門的なノウハウを市民活動に生かす手法を検討する。

単身、少子・高齢社会 の見守り

問 無縁社会が拡大、発生する不幸を最小限にすることが政策課題であるが、対応策は、
**新しい公共の考えを実践し
歯止め**

答 独居高齢者や高齢者のみの世帯が増加、つながりが希薄化と認識。安否確認条例等新しい公共で見守り強化し歯止めを努力する。

地域一体の 学校づくりの課題は

問 子どもを取り巻く環境が激変、生涯学習の基礎を培いながら家庭や地域で教育力を高め再生の機能の充実が必要、学びの意味を問い直す機会も重要、基盤づくりの見解を。

地域の大人が集う 拠点整備に努力

答 地域の大人とのふれあいや交流を通して、生きる力を学ぶ等、学校と社会の相互補完で、教育の推進が図られる。学校施設のリニューアルは、施設一体型小中一貫校の整備により、適正規模化で活動の活性化、不登校問題や学力向上につながる等メリットが考えられる。





各派

公明党議員団

吉 本 光 夫
木ノ平 恵 子
馬 坂 哲 平
多 田 隆 一



質問者 馬 坂 哲 平

新しい教育の実現と 高齢者障がい者に 優しい施設整備を

小中一貫で 新しい教育の推進を

問 「食育」や「キャリア教育」など、子どもたちが生きていくための基礎となる新しい教育を推進することも重要な視点だと考えるが。

子どものための 新しい教育を進める

答 9年間を見通した中で、家庭や地域と連携した食育指導や職場体験など、子どもたちの発達段階に応じたカリキュラムをつくり、新しい教育を進めていきたいと考えている。

地域分権における 市民の自主性は

問 地域分権を更に充実させるためにも、市民の自主性を尊重し、評価し、活用することが重要な点と考えるが。

制度の持続には 自主性が重要

答 地域分権では、時として意思決定に時間がかかることもあるが、市民の自主性を尊重することで、民主主義の実践の場となり、地域分権が持

続可能で満足度の高い事業となっていくと考えている。

子どもの医療費助成の 拡充を問う

問 昨年7月からすべての子どもの医療費助成が小学校入学前まで拡充されたが、更に小学校3年生まで拡充すべきと考えるが。

「了解」と答えたのは 山々だが

答 平成22年度も黒字決算になるので、この際「はい。分かりました。」と答えたのは山々であるが、大震災の影響で、国の地方財政計画がどう変化するのが見えて来ていないので、もう1〜2年状況を見ながら検討したい。

「発達支援室」の設置を 早期要望

問 発達障害の発生率が10%を超えるという報告もあり、早期発見・早期療育のためにも「発達支援室」の設置が緊急の課題と考えるが。

組織横断型の 支援室を設置する

答 最新データでは、発生率が12%という報告もあると認識。市長部局と教育委員会が組織横断的に一体となった支援体制を早期に作りたい。

中央公民館の リニューアル計画は

問 高齢者や障がい者が利用しやすいバリアフリー化は是非とも必要。加えて、時代に即した新しい機能など、具体的なリニューアル計画について問う。

バリアフリーに加えて 新機能も

答 現在の場所での大規模改修工事を行いバリアフリーにする。更に、石橋プラザのような「池田駅前図書館機能」を含めた複合的なセンター機能を持つ施設として検討。



○市長提出議案及び議決の結果(5月臨時会・6月定例会)

議 案 名	議決の結果
専決事項の指定に係る処分報告について 専決指定第1号 損害賠償の専決処分について	報 告
処分報告について 専決第1号 池田市国民健康保険条例の一部改正について	承認(賛成多数)
処分報告について 専決第2号 平成22年度池田市老人保健医療事業特別会計補正予算(第2号)	承認(全員異議なし)
処分報告について 専決第3号 平成22年度池田市一般会計補正予算(第8号)	承認(全員異議なし)
処分報告について 専決第4号 平成23年度池田市一般会計補正予算(第1号)	承認(全員異議なし)
処分報告について 専決第5号 池田市市税条例の一部改正について	承認(全員異議なし)
池田市副市長の選任について	同意(全員異議なし)
池田市監査委員の選任について	同意(全員異議なし)
池田市監査委員の選任について	同意(全員異議なし)
池田市固定資産評価員の選任について	同意(全員異議なし)
池田市立池田小学校耐震補強及び大規模改造工事(第1期)請負契約の締結について	原案可決(全員異議なし)
処分報告について 専決第6号 平成23年度池田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	承認(全員異議なし)
平成22年度池田市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報 告
平成22年度池田市一般会計事故繰越し繰越計算書について	報 告
池田市土地開発公社平成22年度決算及び事業報告並びに平成23年度予算及び事業計画の提出について	報 告
財団法人池田市公共施設管理公社平成22年度事業報告及び決算並びに平成23年度事業計画及び予算の提出について	報 告
池田市地区計画等の案の作成手続に関する条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
池田市消防保安行政事務手数料条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
池田市事務分掌条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市職員定数条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市手数料条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市教育委員会委員の任命について	同意(全員異議なし)
池田市公平委員会委員の選任について	同意(全員異議なし)
池田市職員懲戒審査委員会委員の任命について	同意(全員異議なし)
財産区管理委員の選任について	同意(全員異議なし)
平成23年度池田市一般会計補正予算(第2号)	原案可決(賛成多数)

○議会・議員提出議案及び議決の結果

議 案 名	議決の結果
議長選挙について	終 結
副議長選挙について	終 結
議会運営委員会委員の選任について	選任(全員異議なし)
常任委員会委員の選任について	選任(全員異議なし)
常任委員会委員長の選任について	選任(全員異議なし)
常任委員会副委員長の選任について	選任(全員異議なし)
池田市農業委員会委員の推薦について	推薦(全員異議なし)
大阪府都市競艇組合議会議員の選挙について	終 結
池田市議会常任委員会及び特別委員会条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
特別委員会の設置並びに委員の選任について	選任(全員異議なし)
特別委員会委員長の選任について	選任(全員異議なし)
特別委員会副委員長の選任について	選任(全員異議なし)
池田市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例に定める議員報酬の特例に関する条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
池田市議会常任委員会及び特別委員会条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)

議会の予定

9月定例会は、次の日程で開催する予定です。

9月7日(水)	本 会 議
9月9日(金)	委 員 会
9月12日(月)	委 員 会
9月13日(火)	委 員 会
9月15日(木)	委 員 会
9月27日(火)	本 会 議
9月28日(水)	本 会 議



市議会だより編集特別委員会
 委員長 松本 眞
 副委員長 小林 義典
 委員 山元 建
 委員 安黒 善雄
 委員 馬坂 哲平
 委員 前田 敏

今後とも読んで、見て、わかりやすい紙面づくりをめざしてまいりますので、どうかご愛読いただきますようお願いいたします。

6月定例会では、「学校施設再編整備計画」の概要版が教育委員会から示され、これからの「教育のまち池田」の未来を見据えた学校づくりについて、今後も熱い議論を交わしてまいります。

